

# 「高校生のための留学Q&A」について

山田 政通 ● 拓殖大学副学長・外国語学部教授 本連盟国際連携委員会委員

このたび、日本私立大学連盟の国際連携委員会では、高校生を主な対象とする冊子『大学生になったら留学しよう！ 高校生のための留学Q&A』（以後、「留学Q&A」）を発行した。作成に関わった一人として、本冊子の紹介を兼ね、その狙いや工夫した点などを述べてみたい。

グローバル化が急速に進む近年、日本の住み慣れた環境から離れ、海外で異なる文化を経験し理解する必要性がますます高まっている。しかしその一方で、留学に対する若者たちの不安感が大きいことも事実である。本冊子は、高校生の段階から、大学在学中に留学することへの意識醸成を図ることを目的として発行された。というのは、大学入学後に留学する学生の多くは、既に高校生の段階で留学の意思を固めているからである。大学進学と留学をワンセットで意識させようというのが、本冊子の狙いである。



「留学Q&A」は、イラストや写真を多く用い、高校生が実際に手に取りやすく、親しみやすい内容になるように工夫を凝らした。例えば、留学について、高校生の抱く疑問に、シカ先生（「留学に行く、しかしかゝない」）が回答する「留学ははじめの一步Q&A」や、実際に留学した学生の体験談「行ってよかった！先輩たちの留学体験談」などを掲載している。主に高校生を対象として作成したが、保護者や高校の先生方にもご覧いただき、現在の多様化した留学について理解を深めていただければ幸いである。

筆者の勤務校のオープンキャンパスで、高校生と話しをすると、大学入学後、留学を考えている高校生がかなりいる。また、同伴の保護者にも（中には高校生以上に）留学に大変積極的で、いろいろ具体的な質問をしてくる方もいる。こういった方々の希望や疑問にこたえるのが、本冊子の最大の目的である。

この数年、勤務校では卒業生に対して大学生活を振り返るアンケートを実施しているが、留学を含む海外体験の有無は所属学部によって驚くほど異なる。「留学する学部」（外国語学部、国際学部、商学部）と、「留学しない学部」（政経学部、工学部）という明確な色分けがある。

専攻する学問分野によって海外経験の必然性が多少違うことは分かるが、あまりの落差に驚くばかりである。留学したいという希望を持ちながら入学してくる高校生のためにも、大学としては、各学部での学びに即した留学制度を構築することが急務だと思われる。

本冊子の冒頭でも述べられているが、留学の最大の利点は「人間的な成長」であろう。たくましくなって留学から帰国する学生の姿を毎年見ていると、一人でも多くの若者が日本を飛び出し、異文化に触れ、自国文化に目覚め、世界的な視野で物事を判断できる人間になってほしいと思う。それが、日本の将来を支えるグローバル人材の育成に直結すると確信している。

#### ●参考

「大学生になったら留学しよう！ 高校生のための留学Q & A」PDFデータ（A5判12ページ） <http://www.shidahen.or.jp/activities/international>

本冊子は、大学のオープンキャンパスや説明会などの各種イベント時に配付していただくことを想定して作成したので、広くご活用ください。【複製・配布はフリー】